

平成30年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	16	学校名	県立水戸第一高等学校				課程	全日制		学校長名	鈴木 一弘					
副校長名	金澤 秀美		教頭名		青木 睦人			事務室長名		高麗 良男						
教職員数	教諭	62	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	4	実習講師	1	事務職員	5	技術職員等	3	計	83
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
	普通科	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
		182	144	179	143	185	139			546	426	24				

2 目指す学校像

- ・授業を中心とした、意欲的で活気ある学習活動を展開する学校
- ・生徒が特別活動（学校行事，ホームルーム，生徒会活動），部活動など多様な活動機会の中で切磋琢磨し，能動的な経験を蓄積しながらたくましく成長できる学校
- ・生徒一人ひとりの進路希望実現に貢献できる学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現 状 分 析	課 題																																										
大学進学	<p style="text-align: center;">【過去5年間の大学入試結果概要】*（ ）内は過年度卒を含めた数字</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公立大学・準大学合格者数</td> <td>149 (240)</td> <td>156 (240)</td> <td>139 (213)</td> <td>129 (212)</td> <td>127 (185)</td> </tr> <tr> <td>国公立・準大学医学部(医)合格者数</td> <td>5 (20)</td> <td>8 (25)</td> <td>12 (28)</td> <td>3 (8)</td> <td>7 (12)</td> </tr> <tr> <td>私立大学医学部(医)合格者数</td> <td>1 (11)</td> <td>2 (18)</td> <td>4 (8)</td> <td>3 (18)</td> <td>2 (12)</td> </tr> <tr> <td>難関私立大学合格者数</td> <td>58 (125)</td> <td>62 (105)</td> <td>53 (90)</td> <td>39 (98)</td> <td>27 (72)</td> </tr> <tr> <td>実合格率(全体)</td> <td>64.4</td> <td>74.8</td> <td>66.4</td> <td>69.6</td> <td>62.9</td> </tr> <tr> <td>実進学率(全体)</td> <td>63.2</td> <td>68.3</td> <td>57.9</td> <td>62.5</td> <td>55.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 10%;">H30.4.1現在</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国公立大学の合格者数については，現役生は5年連続で120名を超えたが，総数は185名と5年ぶりに200名を割り込んだ。東京大学は，現役4名，既卒2名で計6名にとどまった。 2 国公立大学・準大学の医学部医学科については，全国的に厳しい入試が続く中，現役7名，既卒5名，計12合格で，現役が健闘した。 3 早稲田，慶應，上智の難関私立大学については，各大学が合格者数を絞る中，本校の合格者数も減少している。 		H26	H27	H28	H29	H30	国公立大学・準大学合格者数	149 (240)	156 (240)	139 (213)	129 (212)	127 (185)	国公立・準大学医学部(医)合格者数	5 (20)	8 (25)	12 (28)	3 (8)	7 (12)	私立大学医学部(医)合格者数	1 (11)	2 (18)	4 (8)	3 (18)	2 (12)	難関私立大学合格者数	58 (125)	62 (105)	53 (90)	39 (98)	27 (72)	実合格率(全体)	64.4	74.8	66.4	69.6	62.9	実進学率(全体)	63.2	68.3	57.9	62.5	55.0	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科指導をより一層充実させ，各教科・科目の目標を達成させると同時に，生徒一人ひとりの進路志望実現に必要な学力を身に付けさせること。 2 科目選択に関するガイダンスを充実させるとともに，広い視野から将来を見据え，高い志をもって大学進学を考えるよう指導すること。 3 3年間を見通した進路指導を実施し，早期に受験態勢に入れるように工夫・改善すること。 4 国公立大学個別試験・私立大学学力の養成のため，不断の授業改善の取り組みなど，個別研究に力を入れること。 5 平成32年度実施の「大学入学共通テスト」に十分な対応ができよう，その方策を入念に検討し，教職員の共通理解のもとで，速やかに実行に移していくこと。
	H26	H27	H28	H29	H30																																							
国公立大学・準大学合格者数	149 (240)	156 (240)	139 (213)	129 (212)	127 (185)																																							
国公立・準大学医学部(医)合格者数	5 (20)	8 (25)	12 (28)	3 (8)	7 (12)																																							
私立大学医学部(医)合格者数	1 (11)	2 (18)	4 (8)	3 (18)	2 (12)																																							
難関私立大学合格者数	58 (125)	62 (105)	53 (90)	39 (98)	27 (72)																																							
実合格率(全体)	64.4	74.8	66.4	69.6	62.9																																							
実進学率(全体)	63.2	68.3	57.9	62.5	55.0																																							

特別活動等	【過去5年間の県高校総体総合順位(男子)】					1. 特別活動等を通して自主・自立の精神を育むこと。 2. 学習活動とのバランスのとれた各部・各同好会活動の中で、競技力の一層の向上を図ること。	
		H25	H26	H27	H28		H29
	順位	5	14	15	16		12
	県立順位	1	6	6	7	4	
1. ホームルーム活動、生徒会活動、歩く会・学苑祭等学校行事は、生徒の自主的な活動をもとに活発に行われている。 2. 体育部16団体、文化部17団体、同好会7団体が活動しており、委員会も20を超える。加入率は、体育系57.8%・文化系33.8%で、たいへん高い。体育部は全国大会に陸上競技部・山岳部が、関東大会に水泳部が出場している。文化部は国際大会にアマチュア無線部が、全国大会に英語研究会部・化学部・吹奏楽部・書道部・放送部が出場している。							

4 中期的目標

1 適切な選択科目・学校設定科目の設定やシラバスの作成により、単位制の利点を生かした学習指導の一層の充実を図るとともに、主体的で積極的な学習を育む魅力ある授業を創造する。 2 社会の変化に対応し、茨城から世界に羽ばたく人材、グローバルな視野を持って地域社会の発展に貢献する人材を育成する。 3 同窓会のネットワークも活用し、各界の第一線で活躍する講師による講演会を開催するなど、あらゆる機会を通じて生徒の進路意識を高揚させるとともに、視野を広げ、高い志を涵養する。
--

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
教育課程の工夫改善と学習指導の充実	新学習指導要領の告示を踏まえ、単位制を活用した新しい教育課程の編成に向けて検討を進める。 電子黒板を活用するなどして、より教育効果の高い学習指導の充実に努める。 拡充した夏季課外を円滑に実施し、生徒の進路希望実現に資する学力の向上を図る。 60分授業の効果を高めるために、さらなる授業の質の向上を目指して、授業に係る研修機会の確保・充実に努める。
進路意識の高揚と確かな学力の養成による進路希望の実現	難関大学(旧7帝大+東工大+一橋大)や国立大医学部医学科等への進路希望実現を支援し、現役進学率の向上及び既卒生を含めた国公立大学合格者数の増加に努める。 卒業生の協力を得るとともに、大学や病院と連携して高い志を持って医学部に進学し、将来医師として社会に貢献できる人材の育成に取り組む。
健康安全指導の充実	健康安全に留意し、心身ともに健康で、生き生きとした学校生活を送れるよう指導する。
特別活動等の充実	特別活動(学校行事、ホームルーム、生徒会活動)、部活動等の充実をはかり、創造性を養い、自主自立の精神の確立に努める。 学校行事を適切に配置することにより、各行事の円滑な実施と充実に努め、新たな伝統の創造を目指す。
将来を見据えた教育活動の見直しと充実	グローバル化する社会に対応できる人材を育成するために、変化する社会を見通しながら、教育活動の見直しと充実を図る。